



## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月1日

上場会社名 イビデン株式会社

上場取引所 東名

コード番号 4062 URL <https://www.ibiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 武志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 佐野 尚 TEL 0584 - 81 - 3111

四半期報告書提出予定日 2018年11月6日 配当支払開始予定日 2018年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	144,247	1.6	5,872	15.0	7,855	4.9	5,508	15.0
2018年3月期第2四半期	141,976	10.1	6,909	245.7	8,258		6,479	

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 10,187百万円 ( 40.4%) 2018年3月期第2四半期 17,084百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	39.43	
2018年3月期第2四半期	46.72	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	440,870	293,753	65.4	2,064.31
2018年3月期	436,425	286,367	64.4	2,012.60

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 288,429百万円 2018年3月期 281,198百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		15.00		20.00	35.00
2019年3月期		15.00			
2019年3月期(予想)				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	3.2	18,000	7.8	19,000	7.9	12,000	3.6	85.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	140,860,557 株	2018年3月期	140,860,557 株
2019年3月期2Q	1,138,140 株	2018年3月期	1,142,070 株
2019年3月期2Q	139,719,908 株	2018年3月期2Q	138,705,740 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、堅調な米国経済及び欧州経済に支えられ、全体としては緩やかに成長しました。国内経済は、輸出の持ち直しの動きに足踏みが見られたものの、設備投資が増加し、また個人消費には持ち直しの動きが見られ、総じて緩やかな回復基調をたどりました。

半導体・電子部品業界の市場は、パソコン・スマートフォン市場は前年対比でマイナス成長となりましたが、データセンター向けサーバー及び車載用電子部品をはじめとした新たな市場の成長が加わり全体としては成長傾向で推移しました。

自動車業界の排気系部品市場は、自動車販売台数は世界的に堅調に推移しましたが、欧州乗用車市場においては、ディーゼル乗用車の販売比率が低下してきています。

このような情勢のもと、当社におきましては、環境の変化を乗り越え、次の100年も持続的な成長を実現するため、今年度より新たな5ヵ年の中期経営計画「To The Next Stage 110 Plan」を始動しました。新中計におきましては、人財育成を基盤に、電子事業、セラミック事業及び国内関連会社事業と電力事業で構成される「その他事業」の3つの既存事業の競争力強化と、中長期の成長を支える新規事業の拡大に取り組んでおります。新規事業については、2017年度に発足した4つの開発センターにおいて新製品の開発及び早期上市に向けた取り組みを進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,442億47百万円と前年同期に比べ22億71百万円（1.6%）増加しました。営業利益は58億72百万円と前年同期に比べ10億36百万円（15.0%）減少しました。経常利益は78億55百万円と前年同期に比べ4億2百万円（4.9%）減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益に関しましては55億8百万円と、前年同期に比べて9億70百万円（15.0%）減少しました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

### 電子事業

パソコン用パッケージ（PKG）事業におきましては、パソコン市場全体は前年対比でマイナス成長となりましたが、新分野及び新規顧客向けの販売が伸びたことにより、売上高は前年同期に比べ増加しました。

スマートフォン・タブレット用小型・薄型基板（CSP）事業におきましては、ファンアウトウエハーレベルパッケージ（FO-WLP）の上市による影響が継続したことにより、売上高は前年同期に比べ減少しました。

マザーボード・プリント配線板（PWB）事業におきましては、ハイエンドスマートフォン向けの薄型・高密度配線基板の出荷が増加したことに加え、サーバー用基板の販売も伸びたことで、売上高は前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、電子事業の売上高は601億56百万円となり、前年同期に比べ8.4%の増収となりました。同事業の営業利益は9億72百万円となり、前年同期に比べ113.2%の増加となりました。更なる収益力の強化に向け、従来から当社が強みを持つ最先端分野におけるシェア拡大及びIoT、データセンター、車載といった新分野と顧客の拡大に継続して取り組んでまいります。

### セラミック事業

ディーゼル・パティキュレート・フィルター（DPF）は、欧州を中心としたディーゼル乗用車比率低下による影響を受け、売上高は前年同期に比べ減少しました。今後、規制の強化に伴い拡大が見込まれる新興国の大型車向けDPF市場におけるシェア拡大と新規顧客への拡販に取り組んでまいります。

触媒担体保持・シール材（AFP）は、世界的に自動車市場が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期に比べ増加しました。

NO<sub>x</sub>浄化用触媒担体（SCR）は、自動車向け製品が堅調に推移したことにより売上高は増加しま

した。

特殊炭素製品（FGM）は、半導体市場が堅調に成長したことに加え、新技術・新素材主体に拡販を進めた結果、売上高は前年同期に比べて増加しました。

以上により、セラミック事業の売上高は523億59百万円となり、前年同期に比べ6.4%減少しました。同事業の営業利益は、33億91百万円となり、前年同期に比べ11.8%減少しました。

#### その他事業

建材部門におきましては、化粧板関連販売部門は、トイレブース向けメラミン化粧板及び不燃化粧板の拡販に努め、売上高は前年同期並みとなりました。また、住宅設備機器販売部門は、コンポ一ネット住宅および賃貸住宅関係の販売が増加したことにより、前年同期に比べ売上高は増加しました。

建設部門におきましては、法面工事は前年同期に比べ売上高は増加したものの、造園工事は前年度からの繰越工事が減少したことや、一部工事の完成が下期にずれ込んだことなどにより、前年同期に比べ売上高は減少しました。

その他部門におきましては、石油製品販売部門は、販売数量は減少しましたが、販売単価の上昇により、前年同期に比べ売上高は増加しました。また、合成樹脂加工部門は、自動車分野並びに精密分野向け発泡樹脂製品の販売数量減により、前年同期に比べ売上高は減少しました。

以上により、その他事業の売上高は317億31百万円となり、前年同期に比べ3.8%増加しました。同事業の営業利益は、15億94百万円となり、前年同期に比べ38.6%減少しました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	117,760	114,674
受取手形及び売掛金	62,235	57,568
商品及び製品	12,839	14,611
仕掛品	9,921	13,487
原材料及び貯蔵品	17,251	19,070
その他	6,428	7,421
貸倒引当金	△101	△91
流動資産合計	226,335	226,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	66,301	65,327
機械装置及び運搬具（純額）	49,479	48,151
土地	19,831	19,892
リース資産（純額）	60	48
建設仮勘定	10,706	15,259
その他（純額）	4,929	5,051
有形固定資産合計	151,308	153,730
無形固定資産	3,689	3,793
投資その他の資産		
投資有価証券	51,954	52,756
長期貸付金	11	10
繰延税金資産	1,842	2,635
その他	1,551	1,462
貸倒引当金	△267	△261
投資その他の資産合計	55,091	56,603
固定資産合計	210,090	214,127
資産合計	436,425	440,870

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,124	39,765
短期借入金	20,005	20,030
1年内償還予定の社債	-	25,000
未払金	12,658	8,292
未払法人税等	4,429	2,757
賞与引当金	3,828	3,464
役員賞与引当金	90	-
設備関係支払手形	1,282	1,414
その他	12,060	14,787
流動負債合計	93,480	115,512
固定負債		
社債	40,000	15,000
長期借入金	10,000	10,000
リース債務	78	55
再評価に係る繰延税金負債	68	68
退職給付に係る負債	525	550
株式報酬引当金	74	120
繰延税金負債	4,506	4,592
その他	1,323	1,216
固定負債合計	56,577	31,604
負債合計	150,057	147,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	64,579	64,579
利益剰余金	123,735	126,445
自己株式	△2,609	△2,601
株主資本合計	249,857	252,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,247	21,008
繰延ヘッジ損益	76	△449
土地再評価差額金	160	160
為替換算調整勘定	10,855	15,133
その他の包括利益累計額合計	31,340	35,853
非支配株主持分	5,169	5,323
純資産合計	286,367	293,753
負債純資産合計	436,425	440,870

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	141,976	144,247
売上原価	110,432	114,251
売上総利益	31,544	29,996
販売費及び一般管理費	24,635	24,124
営業利益	6,909	5,872
営業外収益		
受取利息	241	136
受取配当金	452	572
持分法による投資利益	2	1
為替差益	682	526
受取補償金	-	830
その他	435	367
営業外収益合計	1,814	2,434
営業外費用		
支払利息	75	76
株式交付費	80	-
その他	309	374
営業外費用合計	465	450
経常利益	8,258	7,855
特別利益		
固定資産売却益	74	6
投資有価証券売却益	-	936
事業構造改革費用引当金戻入額	2,692	-
その他	0	1
特別利益合計	2,767	944
特別損失		
固定資産除却損	1,135	476
減損損失	19	-
災害による損失	-	69
その他	8	29
特別損失合計	1,163	576
税金等調整前四半期純利益	9,862	8,223
法人税等	3,272	2,577
四半期純利益	6,590	5,645
非支配株主に帰属する四半期純利益	110	137
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,479	5,508



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	6,590	5,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,082	775
繰延ヘッジ損益	△750	△526
為替換算調整勘定	7,161	4,292
その他の包括利益合計	10,494	4,541
四半期包括利益	17,084	10,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,004	10,022
非支配株主に係る四半期包括利益	80	165

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	計				
売上高							
外部顧客への売上高	55,496	55,909	111,406	30,569	141,976	—	141,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	63	65	3,183	3,249	△3,249	—
計	55,498	55,973	111,472	33,752	145,225	△3,249	141,976
セグメント利益	455	3,845	4,301	2,594	6,895	13	6,909

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材、建設、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額13百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントの利益ごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	計				
売上高							
外部顧客への売上高	60,156	52,359	112,516	31,731	144,247	—	144,247
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	176	177	3,443	3,621	△3,621	—
計	60,158	52,535	112,694	35,175	147,869	△3,621	144,247
セグメント利益	972	3,391	4,363	1,594	5,957	△85	5,872

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材、建設、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△85百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントの利益ごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。